新総サッカー部日誌

新座総合技術高等学校
サッカー部顧問　松村健
２０２２Vol.２２

「心を動かす試合＝自分たちの成長」

【西部支部新人戦結果】

１回戦　２０２３年１月１４日（土）　@新座総合技術高校　９：３０ＫＯ
vs 星野　　１－１（前半０－０　後半１－１）４７分失点　７７分青柳（総合ビジネス科）
延長０－０
ＰＫ４－５

新人戦１回戦が行われました。結果は１対１からのＰＫ負けで敗退となりました。
８０分トータルでゲームを考え、進めること。時間帯を考え、流れを観て、その中でプレーを選択し全体で共有しながらゲームを進めること。その中で、相手の特徴を消しながら、自分たちの良さを出すことを意識して試合に入る。特に前半は、相手の流れが続く中、集中して攻撃を跳ね返しながら試合を進めることができた。後半も集中してゲームを進めるが、一瞬集中力を欠いてセンタリングからの攻撃で失点。その後は徐々に新総の流れになり、７７分に同点ゴール。延長戦も新総の流れが続き、チャンスを作り続けるが決定力を欠き、ゲームを決めることができずにＰＫ戦へ。ＰＫ戦は３人目、６人目、７人目が外し、敗退。
試合全体の運び方においては、大きな進歩が見られるゲームでした。秋季大会が終わってから、攻撃にテーマを設定してトレーニングを続けてきましたが、明らかにこれまでよりも個人でも、チームとしてもできることが増えていることがわかるゲームでした。これまで観えていなかったものが、観えるようになり、それによって判断の質が変化していました。成長が見られたからこそ、１回戦を勝って、聖望学園高校と試合をしたかったと感じています。
厳しい見方をすると、聖望学園高校と試合をできなかったことは、自分たちにとって大きな損失だと思います。これから先の自分たちの目標（県大会に出る）を達成するためには、２回戦に進み、試合をすることが必要でした。間違いなく新しい経験をできる環境があったと思うからこそ、そう思います。ただ、それが叶わなかったということは自分たちの力が足りなかったからであり、勝てそうだったけど勝てなかった理由を考える必要があります。ＰＫを決めていれば勝っていた、で終わらせるのではなく、ＰＫを決めるための要素（技術だけではない）を具体的に深くみんなで考えることが大事だと思います。もっと言ってしまえば、ＰＫまでいかずに試合を決めることもできたはずです。なぜそうできなかったのかを考える必要があります。個の技術を上げ、グループとしての質を上げることを目指すのは、言うまでもないですが、それらの土台となる部分、気持ち、サッカーへの取り組み方をよりレベルの高いものにしていく必要があると思います。勝つための要素（技術と気持ち）の両方を全員で見つめなおし、もう一度チャレンジしたいと思います。
自分たちに矢印を向けて、目標に向かい努力を続けることが観ている人の心を動かすことにつながる。今大会も応援ありがとうございました。４月のリーグ開幕に向けて全員で努力を続けたいと思います。